



4

公民館

- 4-1 別府市中央公民館・市民会館
- 4-2 別府市北部地区公民館
- 4-3 別府市北部地区公民館
なでしこ分館
- 4-4 別府市西部地区公民館
- 4-5 別府市中部地区公民館
- 4-6 別府市南部地区公民館
- 4-7 別府市朝日大平山地区公民館
- 4-8 別府市人権啓発センター

4. 公民館

4-1 別府市中央公民館・市民会館

所在地	上田の湯町6番37号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	3,902.66㎡
建築年	昭和3年
構成施設	講座室・料理室・会議室・大ホール等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	●耐震基準:旧 耐震診断:済 耐震補強:未



公民館は、教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、市民の文化の向上及び福祉の増進にかかわる集会等に供することを目的としており、別府市では現在7施設が設置されています。

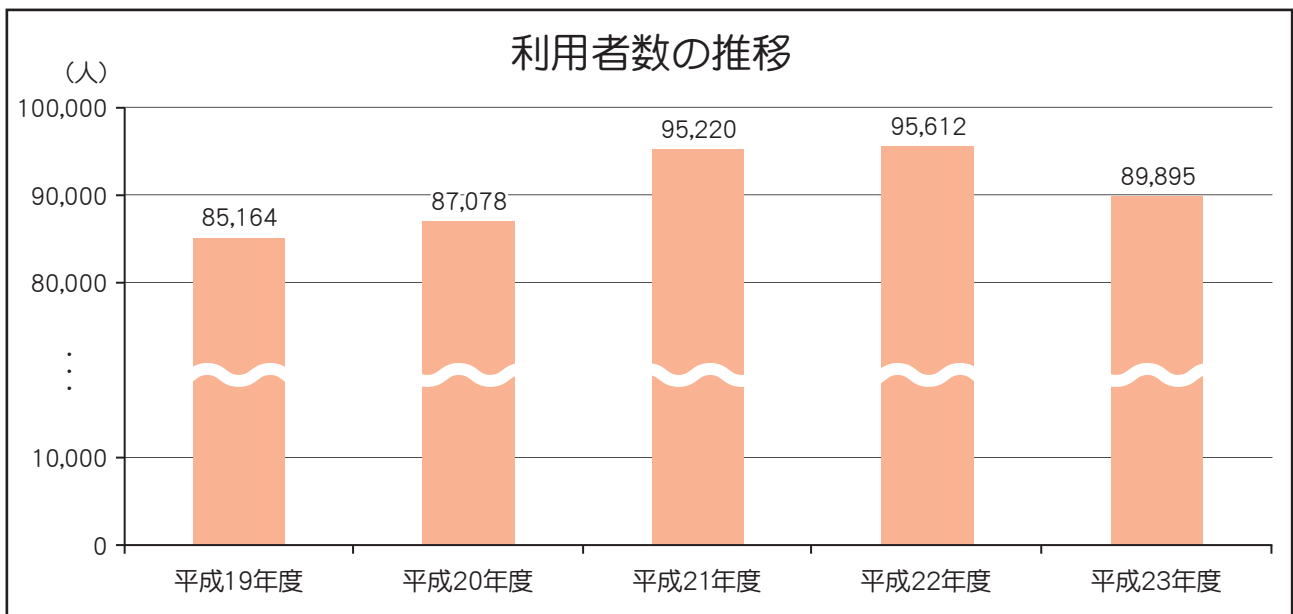
その中でも中央公民館は、昭和3年に旧別府市公会堂として建築された県下屈指の貴重な近代建築です。昭和43年の正面玄関の改修など数回にわたり改修を重ねていますが、老朽化による様々な修繕工事は常時必要となっています。平成19年度には耐震診断を行い、今後は耐震補強を中心に整備する計画となっています。なお、平成6年11月に別府市指定有形文化財となっています。

利用状況としては、社会教育推進の中核機関として家庭教育チャレンジ学級などの市の主催講座の開催、自主講座、サークル活動の場として幅広い分野の方に利用されています。

平成23年度は中央公民館が約3.5万人、市民会館が約4.8万人、市民会館別館が約0.7万人の利用がありました。各年度で利用者数の増減はありますが、3施設で約9万人の利用となっています。

なお、中央公民館では各種証明書の発行業務も行っています。

収 入	
使用料等	5,222 千円
施設にかかる経費	
人件費	18,310 千円 正職員(0.2人) 非常勤職員(10.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	5,338 千円
修繕料	248 千円
役務費	470 千円
委託料	7,439 千円
指定管理料	—
工事請負費	910 千円
その他の支出	1,667 千円
合計	34,382 千円
減価償却費	2,746 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-2 別府市北部地区公民館

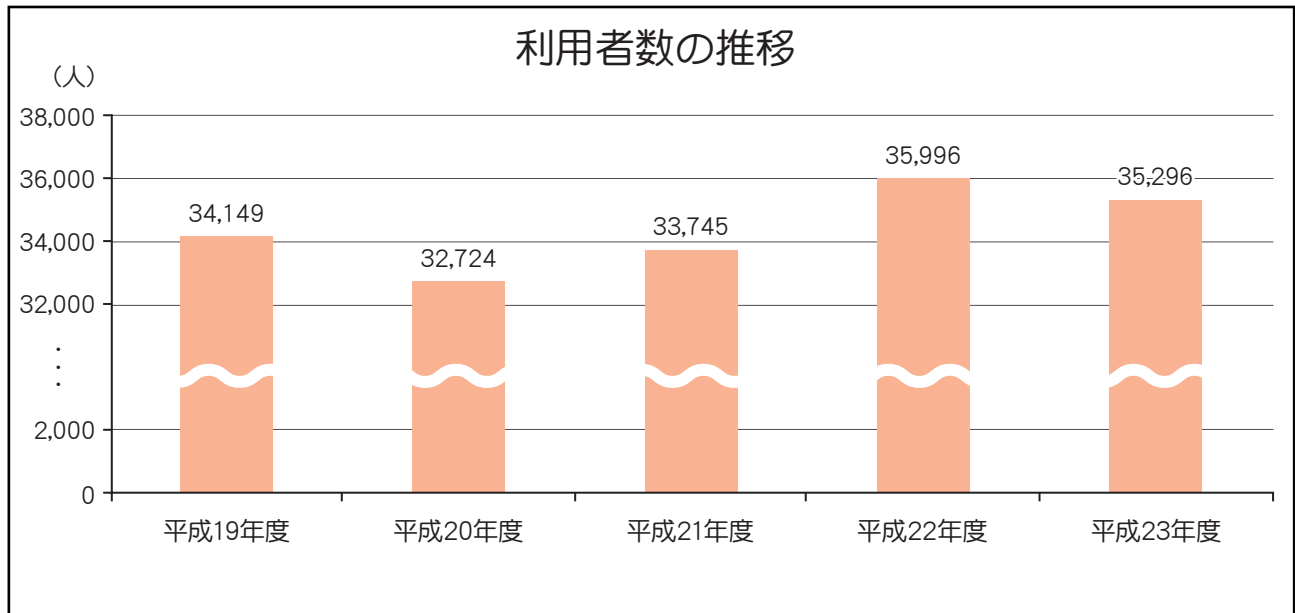
所在地	上人ヶ浜町2191番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	991.50㎡
建築年	昭和55年
構成施設	講座室・研修室・会議室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり(収容)
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



北部地区公民館は、明るく住みよい街づくりを目指し、生涯学習の拠点として昭和55年に設置されています。施設状況としては建築後30年以上が経過していますが、これまでに大規模な改修を実施していないため外壁等の老朽化が著しく内部にも不具合が出ています。また、旧耐震基準の施設であるため耐震診断が必要となっています。

利用状況としては、平成23年度は35,296人の利用となっています。構成施設別の利用状況でみると、集会室が19,798人の56%と利用が高く会議室や講座室は約15%程度となっています。集会室は、スポーツ施設でもあり、健康維持のための講座やサークル活動に利用されているため高齢者の利用が多くなっています。

収 入	
使用料等	1,355 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,507 千円 正職員(0.1人) 非常勤職員(7.0人)
光熱水費	967 千円
修繕料	124 千円
役員費	256 千円
委託料	825 千円
指定管理料	—
工事請負費	137 千円
その他の支出	1,076 千円
合 計	14,892 千円
減価償却費	2,677 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-3 別府市北部地区公民館なでしこ分館

所在地	上人ヶ浜町1番28号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	618.92㎡
建築年	昭和45年
構成施設	料理室・研修室・講座室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	なし
耐震性	○耐震基準：旧 耐震診断：未 耐震補強：未



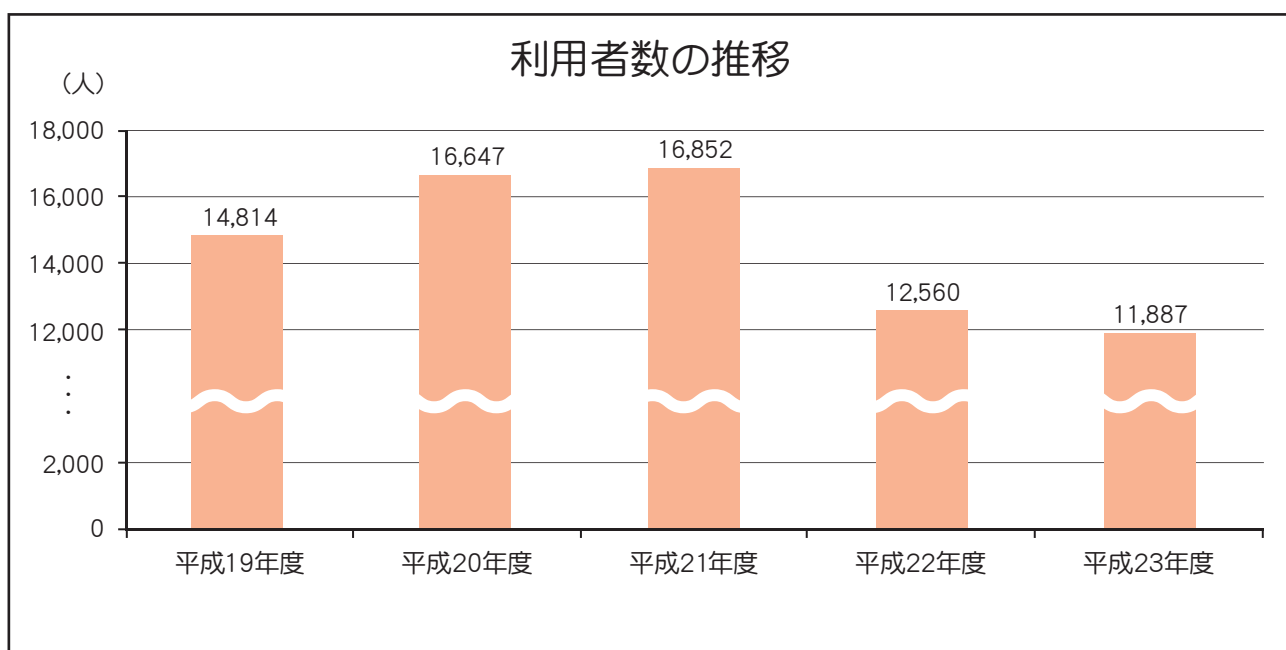
北部地区公民館なでしこ分館は、平成23年度に婦人会館から公民館分館へと位置づけが変わった施設です。施設状況としては、大規模な改修を行っていないため、経年劣化によるクロスや張替えや一部外壁の塗り替え等の簡易修繕は随時必要となっています。また旧耐震基準の建物であることから、安全性を確認するために耐震診断を行う必要があります。

利用状況としては、なでしこリフレッシュ体操、男の料理教室などの市主催講座や和裁、ヨガ、着付けなどの多様な自主講座の場として利用されており、男性の利用者が増加傾向にあります。

利用者数は、平成23年度は11,887人の利用となっており、構成施設別の利用割合でみると、講座室が3,888人の33%と利用が高く、料理室、研修室が15%~18%となっています。

なお、公民館分館へと位置づけが変わったことにより、日曜日の午後と祝祭日、月曜日を閉館することになっています。

収 入	
使用料等	0千円
施設にかかる経費	
人件費	9,923千円 正職員(0.1人) 非常勤職員(5.0人) 臨時職員(1.0人)
光熱水費	689千円
修繕料	170千円
役務費	247千円
委託料	832千円
指定管理料	—
工事請負費	144千円
その他の支出	3,865千円
合計	15,870千円
減価償却費	1,671千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-4 別府市西部地区公民館

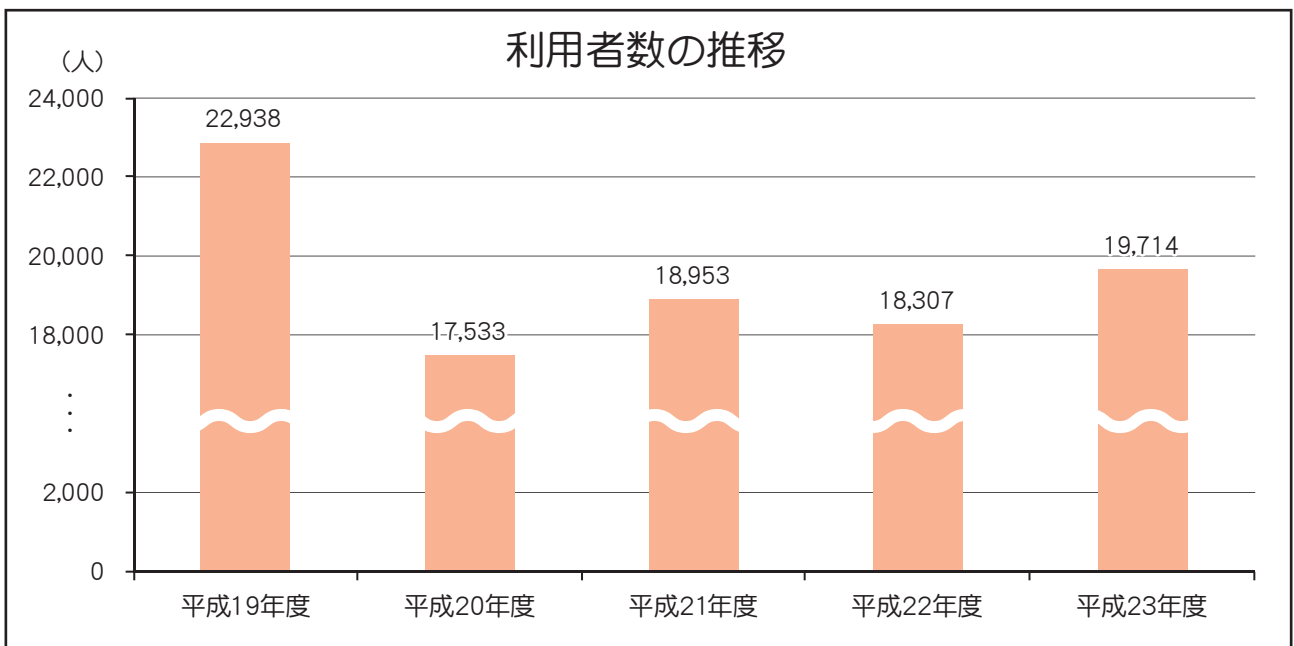
所在地	大字南立石2139番地の15
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	532.00㎡
建築年	昭和58年
構成施設	会議室・料理室・研修室・講座室・図書室・事務所等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



西部地区公民館は、地域の生涯学習の拠点施設として様々な学習機会を提供し、生活文化の振興・社会福祉の増進を図ることを目的として昭和58年に設置されています。施設の状況としては、経年劣化により雨漏りがするため、部分的に防水工事を行うなどの対策を行っています。

利用状況としては、世代間交流「西部あすなる学級」、絵画教室などの市主催講座やカラオケ、詩吟、自力整体教室などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は、19,714人の利用となっており、平成20年度以降はほぼ横ばい傾向となっています。構成施設別の利用状況でみると、会議室約49%、講座室約19%、研修室約14%、料理室約6%、その他約12%となっています。料理室は、調理器具の不具合と利用人数に制限あるため、利用は少なめになっています。

収 入	
使用料等	1,133 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,483 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人) 臨時職員 (1.0人)
光熱水費	1,066 千円
修繕料	117 千円
役員費	219 千円
委託料	1,440 千円
指定管理料	—
工事請負費	297 千円
その他の支出	936 千円
合 計	15,558 千円
減価償却費	1,436 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-5 別府市中部地区公民館

所在地	大字北石垣1839番地の1
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	560.00㎡
建築年	昭和61年
構成施設	会議室・調理室・研修室・和室・児童室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



中部地区公民館は、地域の生涯学習の拠点施設として、心身ともに豊かで心の通い合う人づくり地域づくりに寄与することを目的として昭和61年に設置されています。

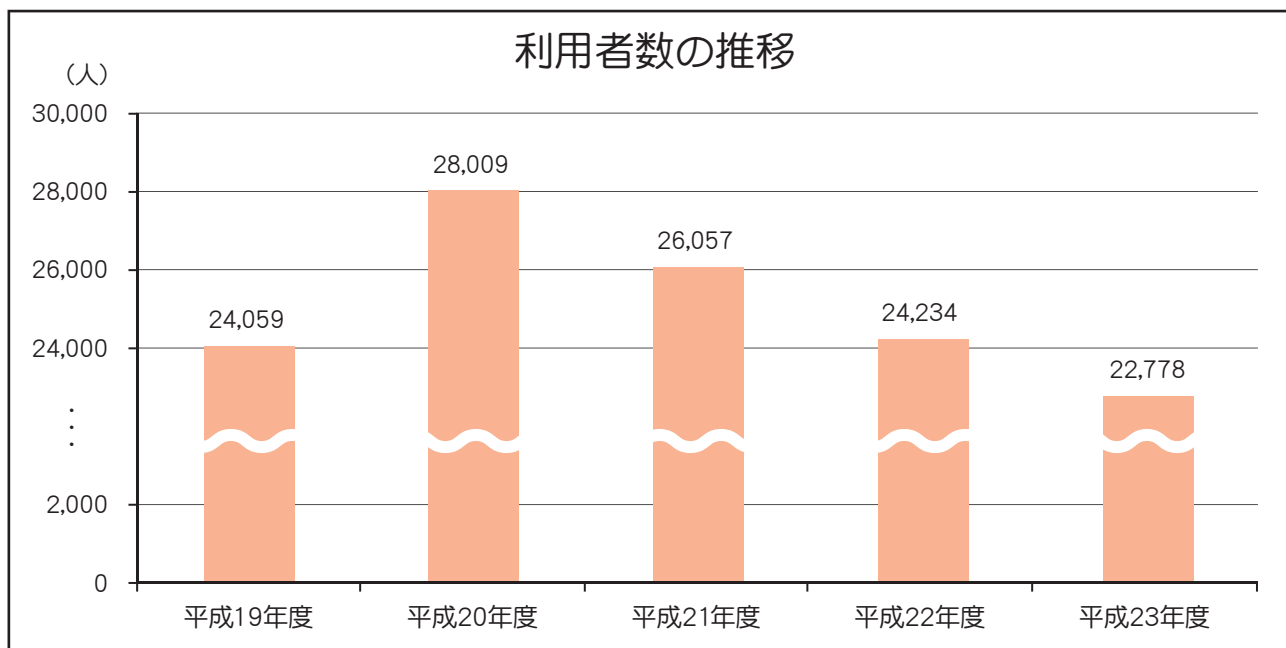
施設の状況としては、平成8年に駐車場舗装工事を行い平成18年には空調設備及び天井アスベスト撤去工事を行っていますが、建築後25年が経過していることにより全体的に老朽化が進んでいます。

利用状況としては、シニア現代セミナー、家庭教育チャレンジ教室などの市主催講座や書道、茶道、太極拳などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は22,778人の利用となっており、平成20年

度以降は減少傾向となっています。構成施設別の利用状況でみると、会議室約63%、研究室・和室がそれぞれ約16%、児童室約4%、調理室約1%となっています。

また各種証明書の交付に年間約1,400人が利用しています。

収 入	
使用料等	1,902 千円
施設にかかる経費	
人件費	11,507 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (7.0人)
光熱水費	1,074 千円
修繕料	27 千円
役員費	245 千円
委託料	1,212 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	1,024 千円
合 計	15,089 千円
減価償却費	1,512 千円 (参考値)



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-6 別府市南部地区公民館（複合施設）

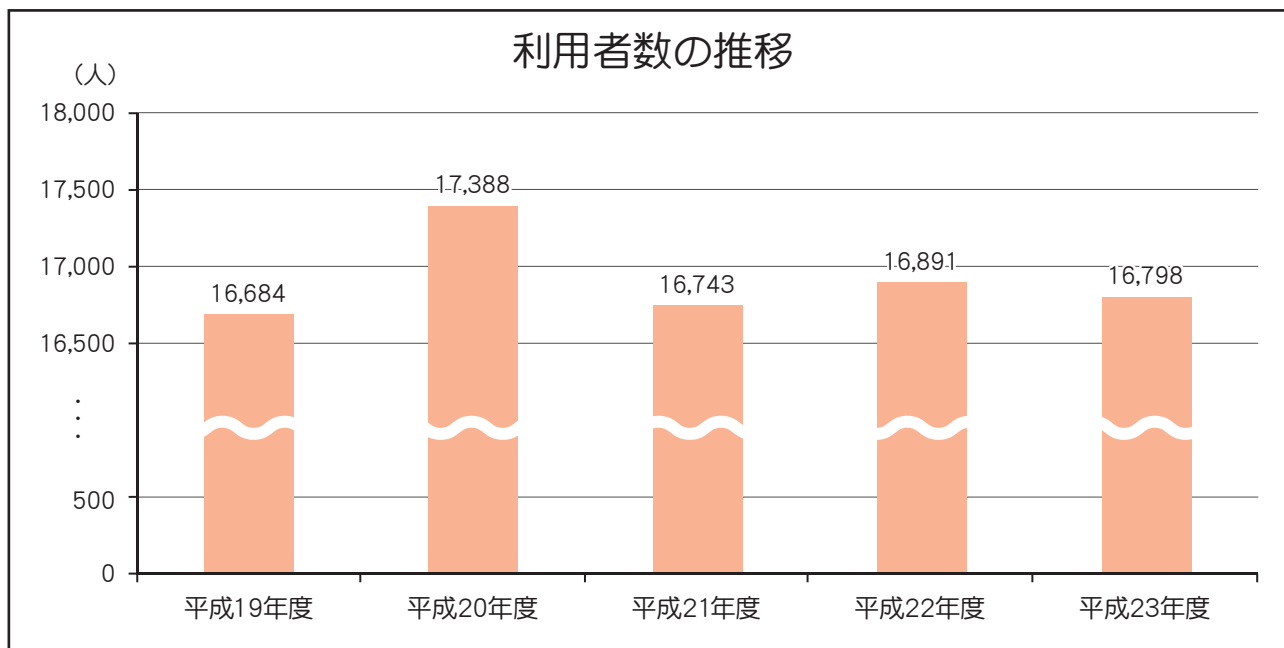
所在地	別府市浜脇一丁目8番20号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	836.27㎡
建築年	平成3年
構成施設	会議室・研修室・文化教室・料理教室・児童室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新



南部地区公民館は、魅力ある学習の場を提供し、地域の連携・資質の向上・健康の増進・情操の純化等を図り、潤いのある生活づくりに寄与することを目的として平成3年に設置されています。施設は、浜脇A街区市街地再開発事業で南部地区公民館、湯都ピア浜脇との複合施設として建築されたものです。施設の状況としては、経年劣化による設備関係等に不具合が出ており、簡易修繕を行うなどの対応が必要となっています。

利用状況としては、市主催講座のさわやか健康教室や南部再発見ふらっと南部なつかしの話講座のほか、舞踊やフォークダンス、民謡などの自主講座の場として利用されています。平成23年度は16,798人の利用があり、構成施設別の利用状況でみると、大会議室約47%、研修室約26%、小会議室約12%となっており、文化教室、料理教室の利用が低くなっています。

収 入	
使用料等	1,445 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,947 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	1,205 千円
修繕料	169 千円
役員費	280 千円
委託料	1,384 千円
指定管理料	—
工事請負費	152 千円
その他の支出	907 千円
合 計	14,044 千円
減価償却費	2,258 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-7 別府市朝日大平山地区公民館

所在地	大字鶴見940番地の2
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	617.57㎡
建築年	平成3年
構成施設	会議室・調理室・研修室・児童室・講座室・事務室等
管理形態	直営
施設所管課	教育委員会生涯学習課
避難所指定	あり（収容）
耐震性	●耐震基準：新

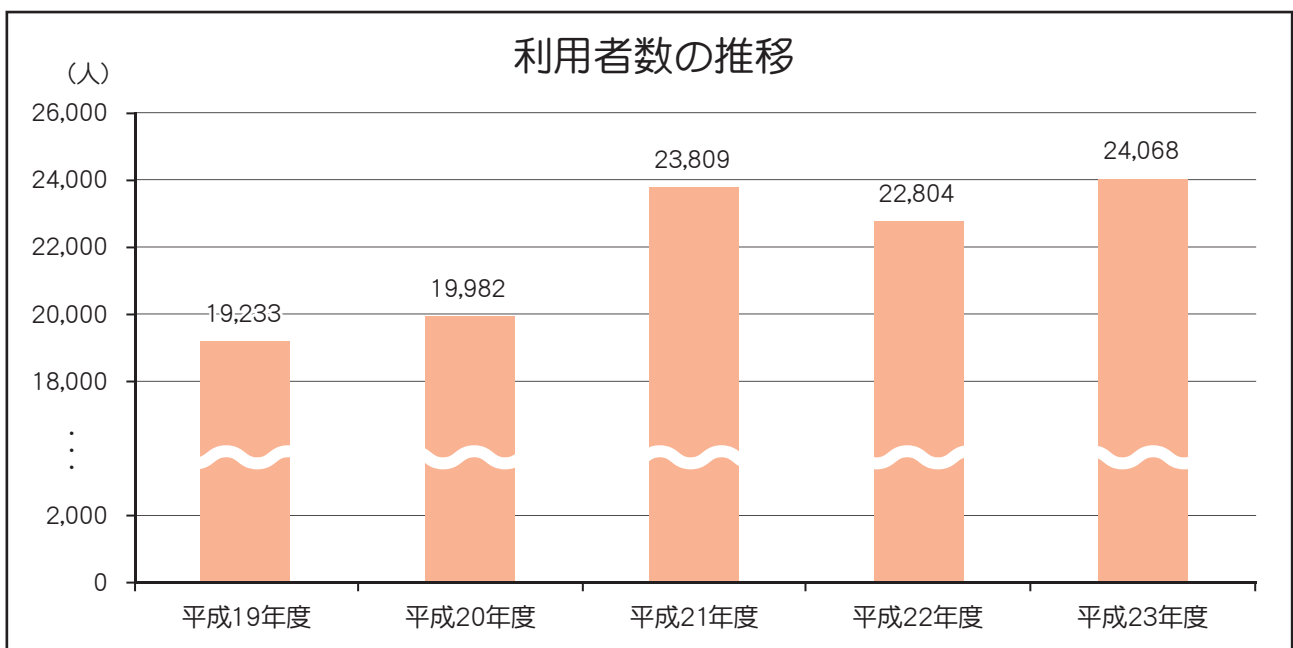


朝日大平山地区公民館は、生涯学習社会形成に向け魅力ある学びの場と健康の場を提供することを目的として平成3年に設置されています。施設の状況としては、経年劣化により空調設備等に不具合が見られるようになっており、簡易な修繕工事等が必要となっています。

利用状況としては高齢者現代セミナー、地域教育力活性化事業「子どもの講座」などの市主催講座や空手、ジュニアピアノ、社交ダンス、英会話教室などの自主講座の場として利用されています。

平成23年度は24,068人の利用があり、平成19年度以降は微増ですが増加傾向となっています。構成施設別の利用状況としては、大会議室約51%、研修室約21%、講座室約20%となっており、児童室、調理室の利用は低くなっています。

収 入	
使用料等	3,081 千円
施設にかかる経費	
人件費	9,947 千円 正職員 (0.1人) 非常勤職員 (6.0人)
光熱水費	1,577 千円
修繕料	70 千円
役員費	252 千円
委託料	1,518 千円
指定管理料	—
工事請負費	288 千円
その他の支出	978 千円
合計	14,630 千円
減価償却費	1,667 千円（参考値）



【平成23年度 開館日数：359日】

4. 公民館

4-8 別府市人権啓発センター

所在地	石垣東十丁目7番5号
構造	鉄筋コンクリート造
延床面積	242.00㎡
建築年	昭和54年
構成施設	事務室・受付・多目的室・調理室・会議室
管理形態	直営
施設所管課	生活環境部人権同和教育啓発課
避難所指定	なし
耐震性	●耐震基準：旧 耐震診断：済 耐震補強：済



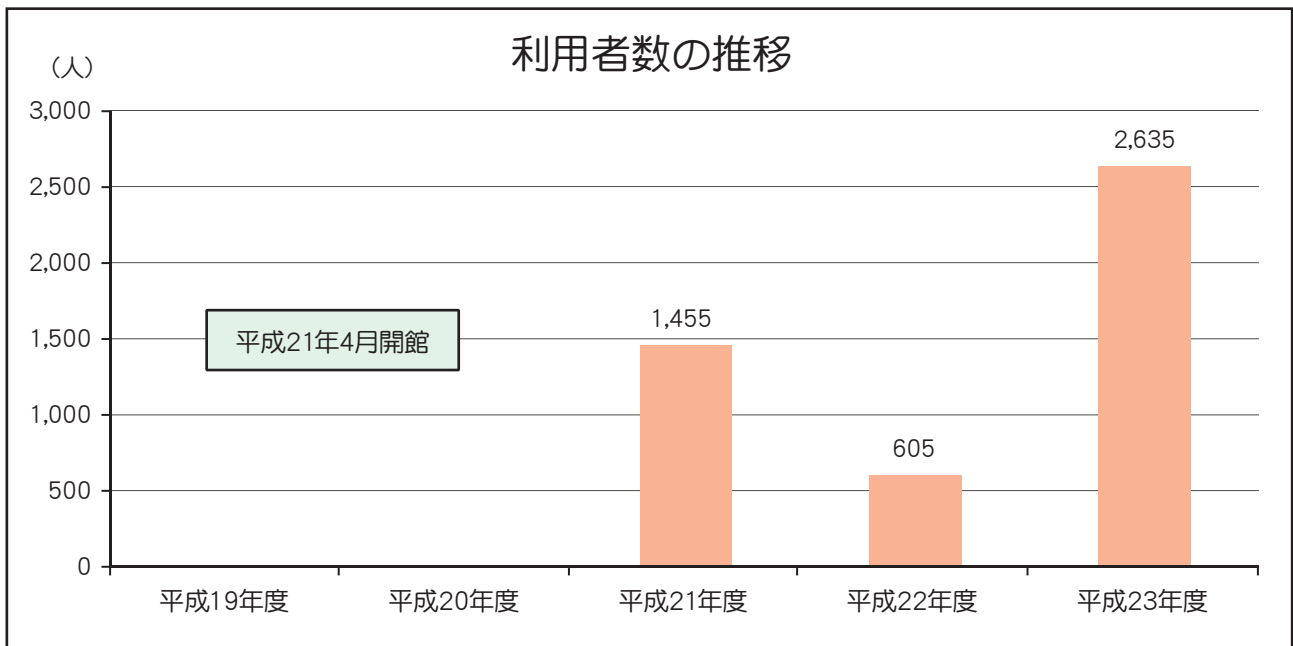
人権啓発センターは、人権教育及び人権啓発の推進を図り、人権が尊重される社会の実現に資することを目的に平成21年に設置されています。施設は旧北石垣集会所として利用していた建物ですが、平成22年に増改築を行い学習施設として活用できるようにミニライブラリーを備えました。

利用状況としては平成23年度は2,635人の利用があり、「人権サークルふれあい」や「人権ミニ講座」等の各種人権講座、子どもたちの学習支援を目的とした学習会を開催するなど、人権教育・啓発を推進する各種団体等の会議や市民の自主活動の場となっています。

また、人権問題についての理解と認識を深めるために視聴覚ソフトや図書等を整備し、企業や市民への貸し出しも行っています。

平成22年度の利用者の減少は、増改築のため6ヶ月間閉館していたためです。

収 入	
使用料等	24 千円
施設にかかる経費	
人件費	8,987 千円 正職員(1.0人) 非常勤職員(2.0人)
光熱水費	429 千円
修繕料	0 千円
役員費	177 千円
委託料	521 千円
指定管理料	—
工事請負費	0 千円
その他の支出	425 千円
合計	10,539 千円
減価償却費	718 千円(参考値)



【平成23年度 開館日数：244日】

4. 公民館

耐震診断の実施状況

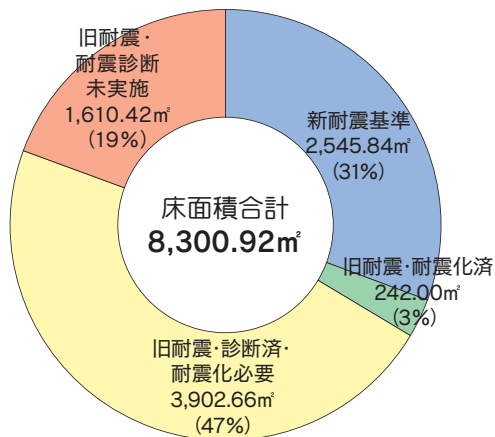
4. 公民館

施設名称	建築年	新耐震基準		旧耐震基準					
				耐震化済		診断済・耐震化必要		耐震診断未実施	
		棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積	棟数	延べ面積
① 別府市中央公民館・市民会館 (注1)	S3					2	3,902.66		
② 別府市北部地区公民館	S55							1	991.50
③ 別府市北部地区公民館なでしこ分館	S45							1	618.92
④ 別府市西部地区公民館	S58	1	532.00						
⑤ 別府市中部地区公民館	S61	1	560.00						
⑥ 別府市南部地区公民館 (注2)	H3	—	836.27						
⑦ 別府市朝日大平山地区公民館	H3	1	617.57						
⑧ 別府市人権啓発センター	S54			1	242.00				
		3	2,545.84	1	242.00	2	3,902.66	2	1,610.42

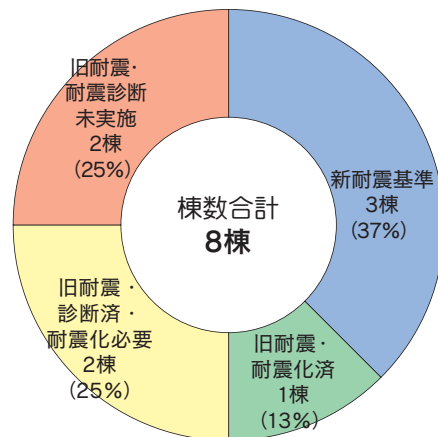
(注1) 別館(762.82㎡)を含みます。

(注2) 複合施設のため、棟数は「観光・温泉」の湯都ピア浜脇で計上しています。

床面積に対する割合



棟数に対する割合



施設配置図 4. 公民館

